

## ストレプトコッカス・ニューモニエ(Streptococcus pneumoniae)由来のβ-N-アセチルへキソサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0784

Lot. No. (See product label)

## はじめに

*□明* 

この酵素は、複□な炭水化物から非還元末端の $\beta$ 1-2、 $\beta$ 1-3、 $\beta$ 1-4および $\beta$ 1-6結合の $\beta$ N-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度(<50 mU/mI)のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素は $\beta$ 1-2Man、 $\beta$ 1-4Manおよび $\beta$ 1-6Manの結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的に $\beta$ 1-2結合の $\beta$ 1-2にのみを切断しますが、 $\beta$ 2つの条件があります。第一に、 $\beta$ 1-2 GlcNAcは、置換されたマンノースが $\beta$ 2-6で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペンタサッカライドコアの $\beta$ 3結合マンノースが「ビセクティング」 $\beta$ 3にNAcで置換されている場合、 $\beta$ 1-3アームのマンノースに結合した $\beta$ 1-2結合の $\beta$ 3にNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、 $\beta$ 1-4および $\beta$ 1-6結合の $\beta$ 3にNAcも加水分解される可能性があります。

別名

β-N-Pセチルヘキソサミニダーゼ; N-Pセチル-β-D-グルコサミニダーゼ, β-N-Pセチルグルコサミニダーゼ

## 製品情報

種

肺炎球菌

由来

E. coli